

60 「予防・予察」に重点を置いた総合防除の推進

【令和6年度予算概算決定額 2,423（2,762）百万円の内数】
（令和5年度補正予算額 2,706百万円の内数）

- <対策のポイント>
- 効果的な病虫害防除による生産力の向上と環境負荷の低減を通じた農業生産の持続性の確保の両立に資する、化学農薬のみに依存しない「予防・予察」に重点を置いた総合防除を推進していくための取組を支援します。
- <事業目標>
- 「予防・予察」に重点を置いた総合防除体系の確立による、生産力向上と農業生産の持続性の確保の両立

○ 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減【令和32年まで】

<事業の内容>

1. みどりの食料システム戦略推進総合対策のうちグリーンな栽培体系への転換サポート 650（696）百万円の内数
農業生産現場における総合防除の推進に必要な土壌くん蒸剤の代替技術等の産地に適した技術の検証、栽培マニュアルの策定等の取組を支援します。

2. 食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業のうち総合防除推進体制の高度化事業 52（60）百万円の内数

① より高度な発生予察調査の実施に向け、遺伝子検定手法等の新たな発生予察の調査手法を確立します。

② 農業者による適切な総合防除の実践を図るため、総合防除に必要な手順、技術等を網羅した総合防除実践マニュアルを整備します。

3. 総合防除の普及のための指導者の育成 1,720（2,006）百万円の内数
総合防除の普及のため、指導者の育成に必要な研修・講習への参加、当該研修・講習の開催等を支援します。

<事業の流れ>

国

都道府県

協議会等

民間団体等

都道府県等

定額

委託

定額（1/2以内）

（1の事業）

（2の事業）

（3の事業）

<事業イメージ>

「予防・予察」に重点を置いた総合防除体系の確立

（例）土壌くん蒸剤の代替技術の導入

連作により土壌くん蒸剤だけでは防除できない土壌病害虫の常発

技術の検証

代替技術の導入

緑肥の導入
輪作・休耕の実施
土壌還元消毒の利用 等

土壌くん蒸剤の低減

栽培マニュアル（栽培暦、防除暦）の策定

総合防除推進体制の高度化事業

遺伝子検定手法等の新たな発生予察の調査方法の確立

迅速で、精度の高い発生予察情報の提供

自身のほ場での病虫害発生状況の把握
防除手段の選択の方法
判断要素を含む様々な防除技術

土壌還元消毒

天敵活用

総合防除

実践マニュアルの整備

現場でのマニュアルに基づいた総合防除の実践

生産力向上と農業生産の持続性の確保の両立

[お問い合わせ先] 消費・安全局植物防疫課（03-3502-3382）